

|    |                |
|----|----------------|
| 公表 | 事業所における自己評価総括表 |
|----|----------------|

|                |             |     |        |             |
|----------------|-------------|-----|--------|-------------|
| ○事業所名          | たまりばレッド     |     |        |             |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年12月4日  |     | ～      | 2025年12月18日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)      | 20人 | (回答者数) | 12人         |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年12月4日  |     | ～      | 2025年12月10日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)      | 6名  | (回答者数) | 6名          |
| ○事業所向け自己評価表作成日 | 2025年12月22日 |     |        |             |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※) と思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等                                       |
|---|--|--|--|
| 1 | 安心して過ごすことが出来る。<br>居心地のいい場所の提供。             | 学校での疲れなどを考慮しながら、本人の無理のないペースで過ごしてもらうことを優先している。<br>利用者と積極的にコミュニケーションを取り、困りごとなどを伝えやすい関係を築けるようにしている。 | 利用者の適正に合わせた活動や、余暇で楽しめるおもちゃを充実させていく。                  |
| 2 | 職員間での情報の共有が出来ている。                          | 毎日のミーティングで利用者の情報共有を行っている。<br>日々の様子をしっかりと共有することで異変に気付けることもある。                                     | 管理者と支援員が定期的に面談することで、職員間でのコミュニケーションが取りやすい環境設定を強化していく。 |
| 3 |  |  |  |

|   | 事業所の弱み(※) と思われること<br>※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                    | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|---|--|--|
| 1 | 利用者の年齢層が幅広いため、活動が低年齢よりに偏りがちになってしまう。       | 小学1年生から高校3年生が通所されているなど、年齢層の幅が広い。                     | 利用者をグループごとに分けて活動を行う。<br>その際には職員配置が課題となるため、シフト調整をしていく必要がある。                               |
| 2 | 保護者への連絡事項についてしっかり伝わっていないことがある。            | 外国の方で日本語が伝わりにくい、連絡帳を確認されていない保護者がいるため、連絡が行き届かないことがある。 | 送迎時に連絡事項をお伝えするようにしているが、保護者に会えない、お電話やメールを送っているが確認が取れないこともある。それぞれの保護者に合わせた連絡手段を考えて行く必要がある。 |
| 3 |   |  |  |